

教育庁教育振興部保健体育課における主な取組について

1 食育の推進について

○食に関する指導事業・地区別研究協議会

児童生徒が生涯を通じて健康な生活を営むために、関係職員を対象とした食に関する指導のあり方等の研修や研究協議会を開催し、食生活の正しい理解と望ましい食習慣の形成などに資する。

＜内容＞

千葉県教育研究会学校給食部会との共催。県内 5 教育事務所ごとに、公立小・中・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の管理職、給食主任（食育担当者）等、栄養教諭・学校栄養職員、学校給食共同調理場長等、教育事務所及び市町村教育委員会の学校給食担当者などを対象とした協議会を実施する。

○地域における食育指導推進事業

県教育委員会では、栄養教諭による、食育指導推進連絡協議会を教育事務所ごとに設置し、地域の関係者等を対象とした授業公開や事後協議会における取組に対する指導助言を行う体制を整え、地域における指導実践力を高めるとともに指導者の育成を図ることを目指す。

学校給食研究指定校を指定し、学校給食の今日的な課題に対する具体的な取組について研究する。

＜内容＞

県内 5 教育事務所管内計 16 名の栄養教諭に食育指導推進委員を委嘱し、その所属校を食育指導推進拠点校として、年度内に約半数の食育指導推進委員が 1 回以上の公開授業を行うこととする。また、食育指導推進全体連絡協議会を年 3 回開催し、それぞれの実践状況や課題等の協議を行い、指導力の向上を図る。



【令和 6 年度 食育指導進拠点校の授業の様子】

2 地場産物の活用について

○学校給食における千産千消デーの取組

旬の食材が豊富に出回る11月を食育月間と位置付け、食育推進運動のより一層の充実を図っている。学校給食において地場産物の活用や郷土料理などの地域の食文化等への理解を促進するため、11月の1か月間のうち任意の1日を「千産千消デー」として設定している。各学校の「千産千消デー」の取組を県のホームページに掲載し、広く周知している。

- 献立
- 材料（1人分）
- 地場産物を活用した料理のレシピ
- 活用した地場産物
- 地場産物の割合
- 食に関する指導内容



【ホームページに掲載している内容】

【県 HP】

3 体験的活動・関係団体等との連携による取組について

○高等学校と連携した食育活動支援事業

豊かな圃場や施設をもつ本県の農業・水産系高等学校を支援校として、県内の高等学校ごとに幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校から参加校を選定し、支援校と各参加校との協議のもと、支援校である高等学校の圃場や施設の利用及び職員の支援を受け、児童生徒等の発達段階に応じた、千葉県ならではの体験を取り入れた食育活動を展開し、その成果を県下に周知し、県全体の食育活動の一層の推進を図ることを目指す支援事業を行っている。



【ダイコンの種まき】

【トウモロコシの収穫】

【調理実習】

【県 HP】

○いきいきしばっ子オリジナル弁当コンクール

食に関する学習ノート「いきいきしばっ子」を用いた学習の集大成として、子供たちが自ら弁当づくりを体験することにより、食への関心を高め、食べることを見つめ直し、食生活の改善を図ることを目的に、小学校5・6年生を対象にオリジナル弁当コンクールを実施する。入賞したお弁当については県のホームページで掲載する。



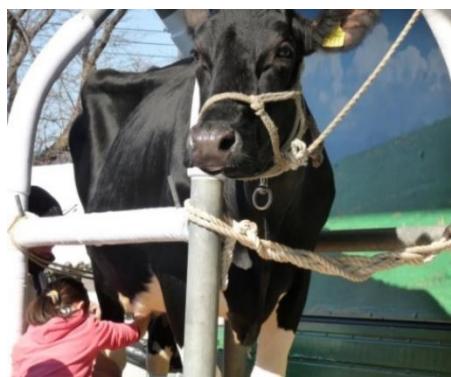
【優秀賞の作品】



【県 HP】

○関係団体による食育事業

- ・酪農教育ファーム活動（千葉県酪農農業協同組合連合会）
学校に牛を連れてきてもらい、乳絞りや子牛とのふれあい体験などを通して、牧場のことや乳牛のことを周知する活動。
- ・食育活動支援事業（JA千葉中央会）
実際に米や野菜といった農作物を栽培することや、収穫したものを調理して食べるといった体験・活動を通して、日本農業の根幹である水田・畑作農業に関する知識・理解をより一層深めることを目的とした食育活動支援事業。



【酪農教育ファーム活動】



【食育活動支援事業】

○学校参加型食育体験プログラム

ちば食育サポート企業の実施する食育プログラムを周知し、学校における食育推進活動を支援するとともに、県と企業の連携による一体的な取組を推進する。

令和7年度
学校参加型食育プログラム
【小学校・中学校・高等学校・大学】

千葉マスクコットキャラクター チーバくん

プログラム名	対象年齢・学年等
キッコーマンしようゆ塾	小学3・4年生
実施企業	キッコーマン株式会社
内容	しようゆを使った食べ物、しようゆの原材料、つり方(ビデオ)、野菜(千葉県でしようとゆづくりがはじまつた理由)、しようゆの魅力、やわらかさ、食事をおいしくする秘訣について、キッコーマン社員が教えるようゆ塾が実施します。絶品学年・園庭・理化学・家庭科などの授業にお役立てください。
実施地域	県内各校
実施時間	45分(1コマ)
定員(回)	クラス単位
費用	無料
対象年齢	小学校3年生、家庭科 ・理化学・ラーフルーム会員
電 脈	—
メール	damon@mail.kikkoman.co.jp
アドレス	—
連絡部署	出前事業推進部
担当者	—
参考 URL	https://www.kikkoman.com/jp/shukoku/activity/school/
備考	平日実施 学校休業時、オンラインでもらうと可能

実施している食育プログラムをご活用ください。
プログラムについては、直接、各企業へお申し込みください。

ちば

【令和7年度 学校参加型食育体験プログラム】

4 高等学校における食に関する指導について

高校生段階における食育の推進のため「学校における食育の指導体制と指導内容の充実」及び「食育を通じた健康状態の改善等の推進」を行う。

- ・「全体計画・指導計画の作成」
 - ・「高校生食育リーフレット」

【高校生食育リーフレット】